

本気で語ることの難しさ

しかし、この「本気」ということを考えるとき、
忘れてはならない、さらに大切なことがあります。

それは、「ポジティブ・シンキング」ということです。

すなわち、「本気で語る」とは、「本気で信じる」ということなのです。

その夢がかならず実現するというポジティブなイメージを描き、
それを本気で信じることなのです。

しかし、それは、言葉で言うのは簡単ですが、実際にやってみると、
その難しさがよくわかります。

なぜならば、私たちは「深層意識」の世界を持っているからです。

たとえば、「夢はかならず実現する！」と

表層意識の世界でいかに強く念じてみても、かならず、
深層意識の世界で「本当に夢は実現するだろうか」との疑問が湧いてきます。
それは、あたかも、プラスとマイナスの電荷が同時に発生することに似ています。

いかに表層意識でポジティブなことを念じてみても、
それを強く念じれば念じるほど、かならずそれに応じただけ、
深層意識にネガティブな気持ちが生まれてしまうのです。

そして、深層意識の世界にこうした一種の「反作用」があるからこそ、

多くの人々は、「夢を本気で語る」ということができないのです。

これまで、「夢を語る」ということの大切さは、

多くの人々によって言われてきました。

しかし、それを「本気で語る」ということは、

実は、決して容易なことではないのです。

なぜならば、「本気で信じる」ということが難しいからです。

そして、それを本気で信じ、本気で語るということができなければ、

「夢を語る」ということが、

力を振り絞るエネルギーを生み出すことはないのです。

ここに「ポジティブ・シンキング」というものの要諦があります。

書店に行けば、「ポジティブ・シンキング」の重要性を論じた本は多いのですが、
それを読んでポジティブなことを強く念じてみても、
決してポジティブな思考ができないという壁に突き当たります。

それは、まさに、この深層意識の作用のためなのです。
したがって、もし、誰かが本当にポジティブ・シンキングを行いたいのであれば、
その人に求められるのは、実は、「念の強さ」ではありません。

求められるのは、「無邪気さ」や「純粋さ」なのです。

自分の描く夢の実現を無邪気に信じることのできる力や、
その実現をただひたすら純粋に祈ることのできる力こそが求められるのです。

そして、そうした力は、ときに、「天が与える」とでも呼ぶべき
稀有な能力であることも、またひとつの事実なのです。